

## 伊藤硝子産業 としての答え ～ 具体的行動 ～

7 エネルギーをみんなに  
そしてクリーンに



7.3 2030年までに、世界全体のエネルギー効率の改善率を倍増させる。

A. 「尿素SCRシステム」装置付き車両を導入

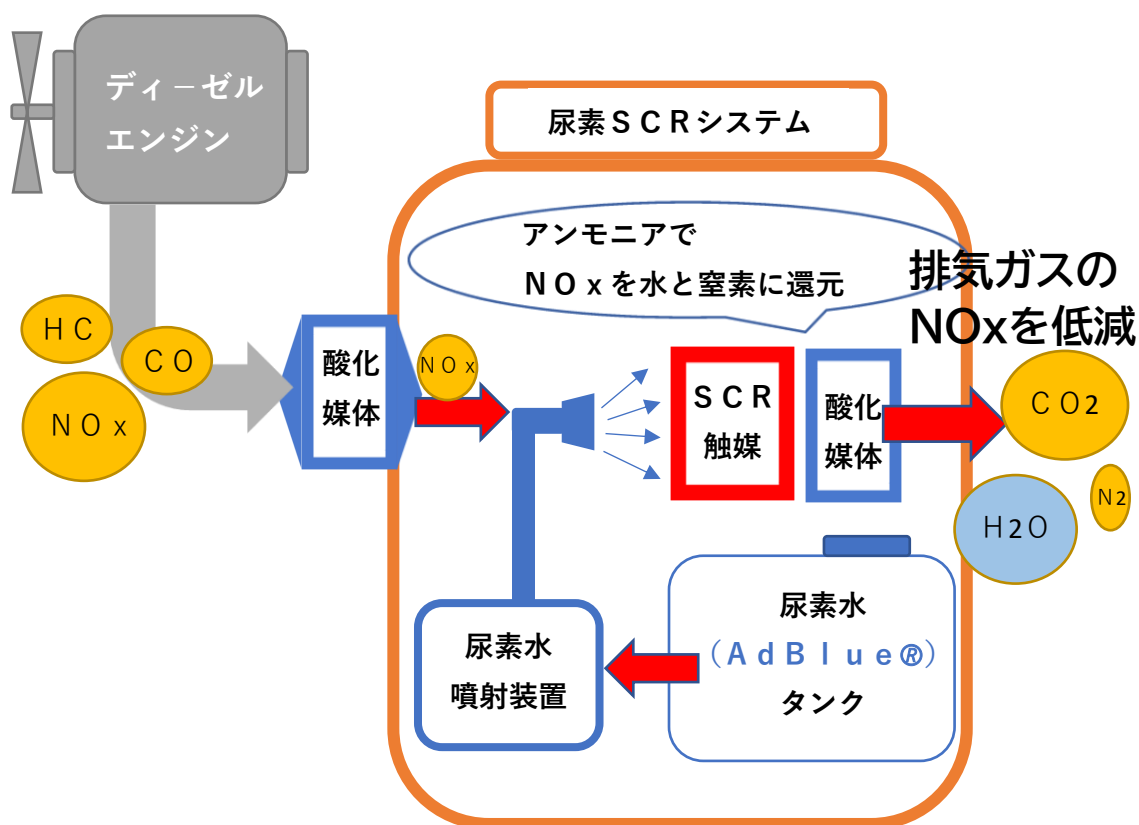
大気汚染の原因とされている窒素酸化物を無害な窒素と水に分解し、大気に排出します。

A. 「尿素SCRシステム」装置付き車両を導入



AdBlue®

ディーゼルエンジンの排気をクリーンにする『尿素SCRシステム車』を採用



- ディーゼルエンジンから排出される窒素酸化物（NO<sub>x</sub>）を浄化するもの。有害物質である窒素酸化物をアンモニアと化学反応させることで、窒素酸化物を、大気は無害な水に分解し排出します。
- 「尿素SCRシステム」が使うアンモニアは、窒素酸化物の中の酸素と結合する性質があり、窒素酸化物にアンモニアを吹きかけることで化学変化を起こし、窒素と水に還元することができます。
- 車で使用される尿素は、「高品位尿素水（AdBlue/アドブルー）」を使用しております。
- 「高品位尿素水（AdBlue/アドブルー）」は、世界で厳しい基準をもつドイツ自動車工業会（VDA）の登録標章です。